

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
千曲市	更埴川西地区(大字稲荷山・野高場・桑原・八幡)	令和3年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	492.2ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	253.8ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	60.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	27.8ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.4ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- ・未利用農地は多いが、まとまっていないため、新規就農者も圃場の選定に苦戦する。
- ・退職年齢が引き上げられており、定年帰農者の就農年齢も上がっている。
- ・忙しい時期が重なるため、アグリサポーターも都合がつかず、人手不足。
- ・スマート農業は普及してはほしいが、導入費用が高い。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・定年退職後に就農しやすいよう、組織化し集団で営農をする。
- ・手ごろな価格帯になるのを見計らって、スマート農業の推進。
- ・耕作放棄地に関する情報を、中心経営体等と共有する。
- ・ハウス等施設栽培については、新規就農者向けにインシヤルコストを抑えるための、行政の支援